

(一社)北海道商工会議所連合会
中小企業景況調査報告書

第180回 調査概要

・調査対象期間 : 2025年10～12月期 実績
2026年1～3月期 見通し
・回答数 : 345社
・発行日 : 2026年1月28日

今期業況・来期見通し

緩やかな回復に足踏みがみられる。ガソリン暫定税率廃止に伴う物価高是正への期待感がある一方、人件費や原材料費の高止まりで先行き不透明感が強まっている。海外情勢を巡る不確実性に注意。

■主なコメント

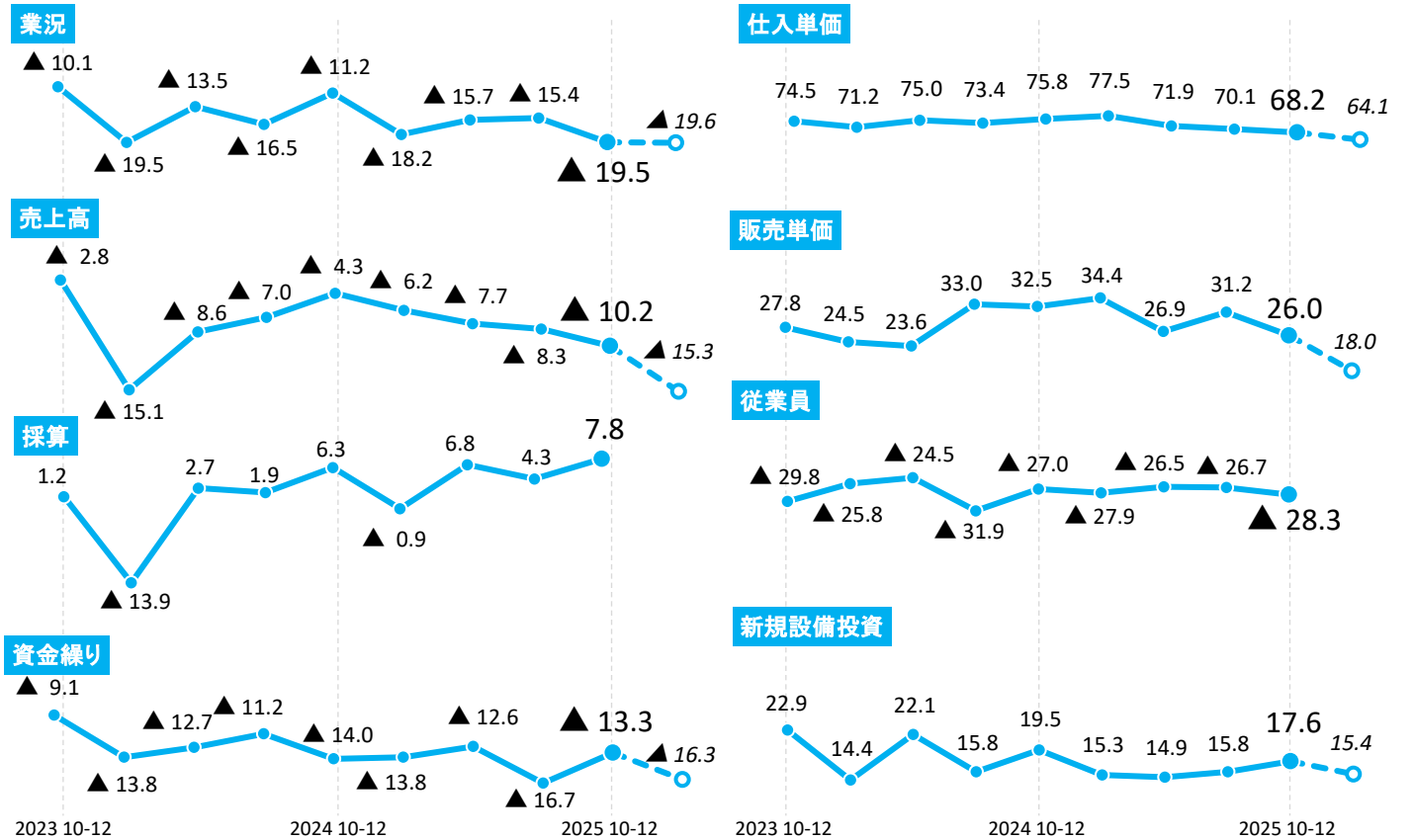
- ・建築資材をはじめに付随する配送費・人件費も上昇。地方での工事現場においてはさらに宿泊費が上昇しており、経費上昇分を価格転嫁できていない。(内装工事業)
- ・価格転嫁しても売上増加に結び付かず利益は横ばいか縮小傾向。ガソリン暫定税率の廃止により状況変化の可能性はあるが、消費税減税など目に見えてわかりやすい変化がないと消費者マインドが変わらないと考える。(各種商品卸売)
- ・中国からのインバウンドがすべてキャンセルとなり今後の見通しが立たない状況。早急に他国への営業を展開しているが、春以降まで影響は続く見通し。(運送業)

■全産業D・I

	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3(見通)
業況(前年同期比)	▲ 10.1	▲ 19.5	▲ 13.5	▲ 16.5	▲ 11.2	▲ 18.2	▲ 15.7	▲ 15.4	▲ 19.5	▲ 19.6
売上高(前年同期比)	▲ 2.8	▲ 15.1	▲ 8.6	▲ 7.0	▲ 4.3	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 8.3	▲ 10.2	▲ 15.3
採算(今期の経常損益)	1.2	▲ 13.9	2.7	1.9	6.3	▲ 0.9	6.8	4.3	7.8	-
資金繰り(前年同期比)	▲ 9.1	▲ 13.8	▲ 12.7	▲ 11.2	▲ 14.0	▲ 13.8	▲ 12.6	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 16.3
仕入単価(前年同期比)	74.5	71.2	75.0	73.4	75.8	77.5	71.9	70.1	68.2	64.1
販売単価(前年同期比)	27.8	24.5	23.6	33.0	32.5	34.4	26.9	31.2	26.0	18.0
従業員(今期の過不足)	▲ 29.8	▲ 25.8	▲ 24.5	▲ 31.9	▲ 27.0	▲ 27.9	▲ 26.5	▲ 26.7	▲ 28.3	-
新規設備投資した割合	22.9	14.4	22.1	15.8	19.5	15.3	14.9	15.8	17.6	15.4

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。

○ 来期見通



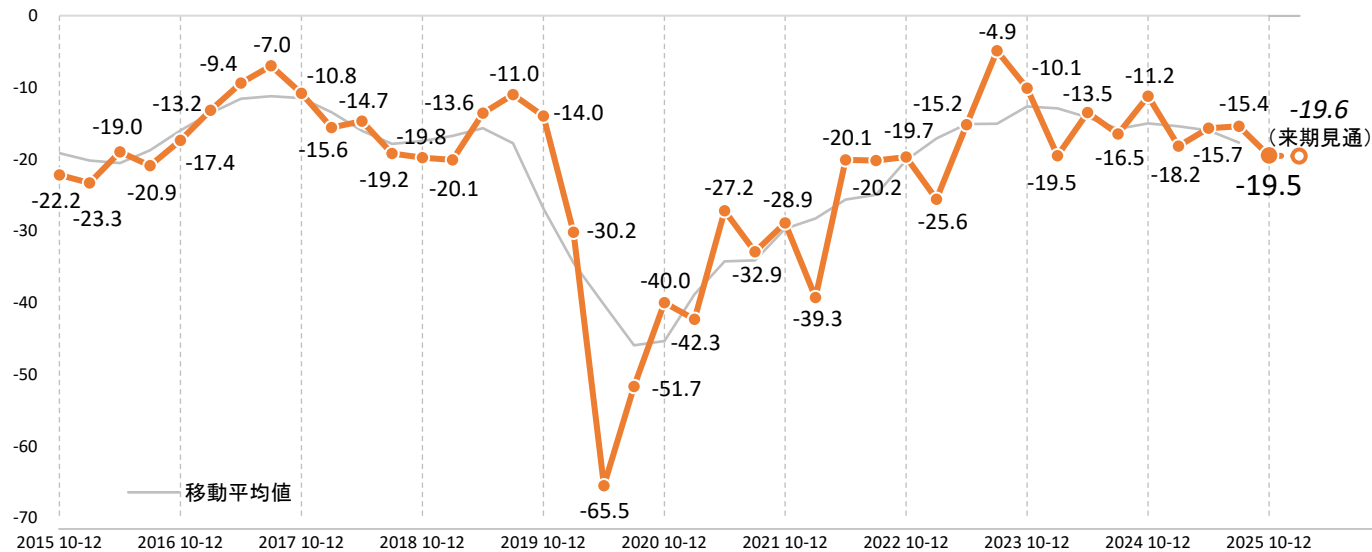
I. 業 況

1. 今期

前年同期比

(2024年10～12月期の水準と比較した今期の業況)

全業種平均D・I 《好転－悪化》



業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 19.5	11.8%	56.9%	31.3%		▲ 15.4
製造	▲ 40.7	7.4%	44.5%	48.1%		▲ 21.5
建設	▲ 18.3	8.5%	64.7%	26.8%		▲ 20.3
卸売	▲ 20.3	9.3%	61.1%	29.6%		▲ 16.1
小売	▲ 11.7	16.2%	55.9%	27.9%		▲ 17.7
サービス	▲ 6.3	17.7%	58.3%	24.0%		▲ 1.1

■好転 □不変 ■悪化

前期比

(2025年7～9月期の水準と比較した今期の業況)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 14.9	11.9%	61.3%	26.8%		▲ 11.4
製造	▲ 21.8	12.7%	52.8%	34.5%		▲ 18.4
建設	▲ 8.7	11.6%	68.1%	20.3%		▲ 9.6
卸売	▲ 14.8	9.3%	66.6%	24.1%		▲ 14.6
小売	▲ 19.7	12.1%	56.1%	31.8%		▲ 15.2
サービス	▲ 9.5	13.7%	63.1%	23.2%		1.1

■好転 □不変 ■悪化

今期の水準

(2025年10～12月期の水準)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 21.1	13.2%	52.5%		34.3%	▲ 22.6
製造	▲ 44.6	5.4%	44.6%		50.0%	▲ 36.6
建設	▲ 21.5	11.4%	55.7%		32.9%	▲ 21.6
卸売	▲ 18.9	13.2%	54.7%		32.1%	▲ 25.0
小売	▲ 16.2	16.2%	51.4%		32.4%	▲ 16.4
サービス	▲ 4.2	19.8%	56.2%		24.0%	▲ 13.2

■ 良い □ ふつう ■ 悪い

2. 来期

前年同期比

(2025年1～3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 19.6	10.1%	60.2%		29.7%	▲ 14.8
製造	▲ 22.6	17.0%	43.4%		39.6%	▲ 20.4
建設	▲ 19.1	7.4%	66.1%		26.5%	▲ 21.5
卸売	▲ 27.7	1.9%	68.5%		29.6%	▲ 20.0
小売	▲ 19.2	13.2%	54.4%		32.4%	▲ 7.4
サービス	▲ 9.6	10.8%	68.8%		20.4%	▲ 4.4

■ 好転 □ 不変 ■ 悪化

今期比

(2025年10～12月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 15.8	11.3%	61.6%		27.1%	▲ 7.5
製造	▲ 26.0	8.0%	58.0%		34.0%	▲ 8.4
建設	▲ 18.1	6.1%	69.7%		24.2%	▲ 15.5
卸売	▲ 17.3	11.5%	59.7%		28.8%	▲ 5.5
小売	▲ 12.1	15.2%	57.5%		27.3%	▲ 11.5
サービス	▲ 5.5	15.6%	63.3%		21.1%	3.4

■ 好転 □ 不変 ■ 悪化

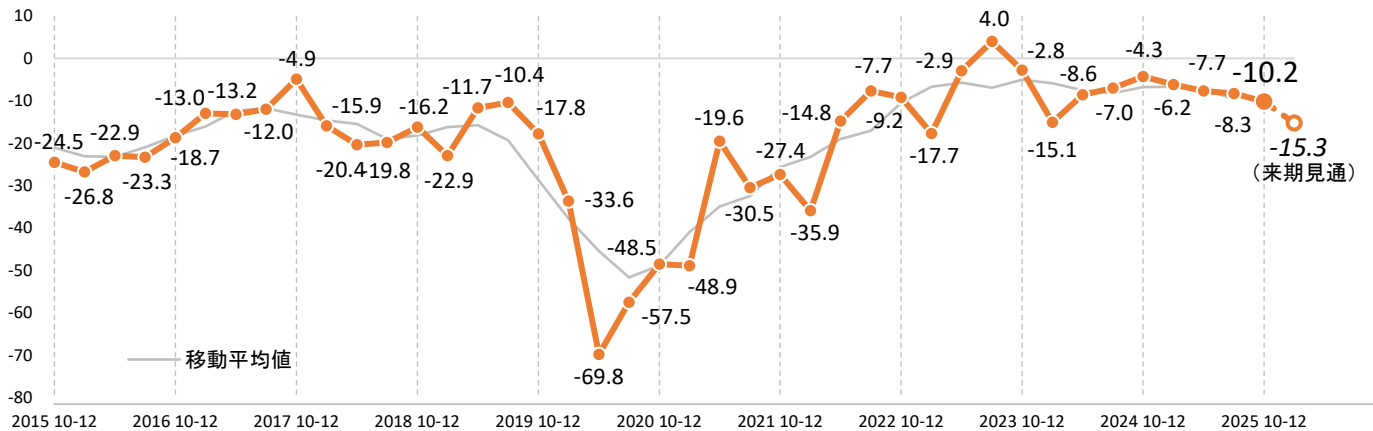
Ⅱ. 売上高

1. 今期

前年同期比

(2024年10～12月期の水準と比較した今期の売上高)

全業種平均D・I ≪増加－減少≫



業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 10.2	25.3%	39.2%	35.5%		▲ 8.3
製造	▲ 14.3	23.2%	39.3%	37.5%		▲ 23.1
建設	▲ 28.2	15.5%	40.8%	43.7%		▲ 28.3
卸売	▲ 11.1	24.1%	40.7%	35.2%		▲ 10.7
小売	▲ 2.9	32.4%	32.3%	35.3%		10.3
サービス	5.3	31.3%	42.7%	26.0%		9.9

■増加 □不変 ■減少

前期比

(2025年7～9月期の水準と比較した今期の売上高)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 1.2	27.9%	43.0%	29.1%		▲ 5.3
製造	▲ 7.2	23.2%	46.4%	30.4%		▲ 25.0
建設	▲ 4.3	23.9%	47.9%	28.2%		▲ 2.7
卸売	3.8	32.1%	39.6%	28.3%		▲ 14.3
小売	▲ 2.9	29.9%	37.3%	32.8%		5.9
サービス	4.2	30.2%	43.8%	26.0%		9.8

■増加 □不変 ■減少

2. 来期

前年同期比

(2025年1～3月期の水準と比較した来期の見通し)

業種別D・I値

	今回	内訳				前回
全業種	▲ 15.3	16.7%	51.3%	32.0%		▲ 9.0
製造	▲ 22.6	15.1%	47.2%	37.7%		▲ 14.0
建設	▲ 27.1	8.6%	55.7%	35.7%		▲ 20.6
卸売	▲ 20.3	16.7%	46.3%	37.0%		▲ 10.8
小売	▲ 7.3	26.5%	39.7%	33.8%		2.9
サービス	1.0	16.8%	67.4%	15.8%		▲ 2.2

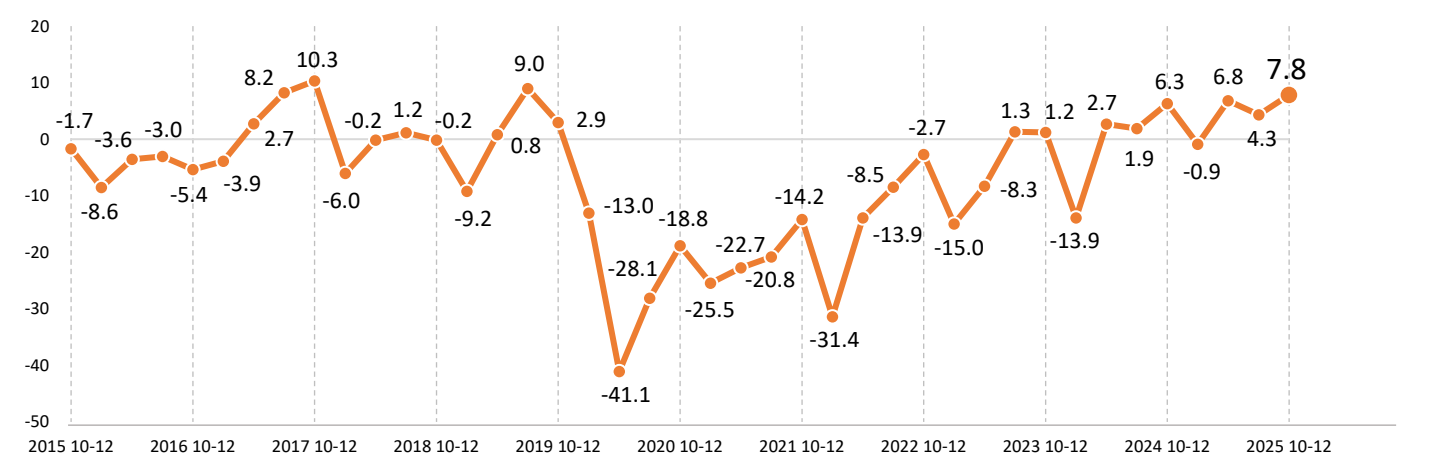
■増加 □不変 ■減少

Ⅲ. 採算(経常利益)

1. 今期

今期の水準	(2025年10～12月期の水準)
-------	-------------------

全業種平均D・I ≪ 黒字－赤字 ≫



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	7.8	29.6%	48.6%	21.8%	4.3
製造	▲ 3.6	19.6%	57.2%	23.2%	▲ 11.5
建設	12.8	35.7%	41.4%	22.9%	16.2
卸売	11.3	28.3%	54.7%	17.0%	8.9
小売	2.9	27.9%	47.1%	25.0%	1.5
サービス	15.7	36.5%	42.7%	20.8%	6.6

■ 黒字 □ 収支トントン ■ 赤字

前年同期比	(2024年10～12月期の水準と比較した今期の採算)
-------	-----------------------------

業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 23.5	11.7%	53.1%	35.2%	▲ 18.5
製造	▲ 30.9	7.3%	54.5%	38.2%	▲ 29.4
建設	▲ 32.3	8.5%	50.7%	40.8%	▲ 25.7
卸売	▲ 27.8	7.4%	57.4%	35.2%	▲ 19.6
小売	▲ 14.8	17.6%	50.0%	32.4%	▲ 9.0
サービス	▲ 11.5	17.7%	53.1%	29.2%	▲ 8.8

■ 好転 □ 不変 ■ 悪化

2. 来期

前年同期比	(2025年1～3月期の水準と比較した来期の見通し)
-------	----------------------------

業種別D・I値

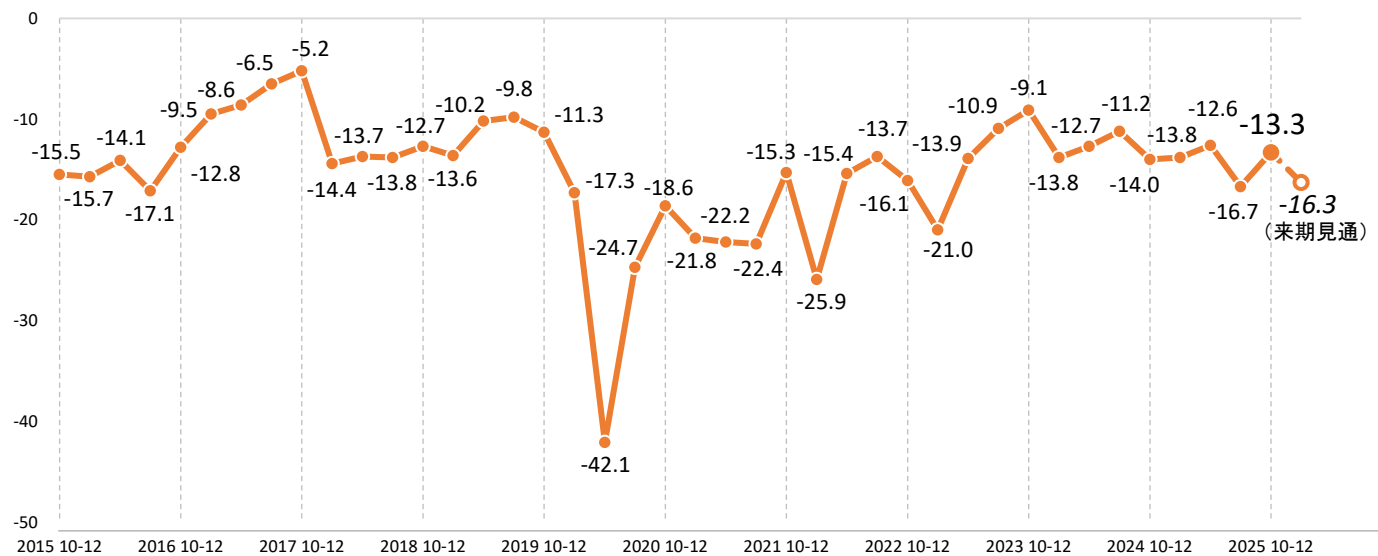
	今回	内訳			前回
全業種	▲ 19.0	10.5%	60.0%	29.5%	▲ 15.1
製造	▲ 25.0	11.5%	52.0%	36.5%	▲ 20.0
建設	▲ 22.9	7.1%	62.9%	30.0%	▲ 17.8
卸売	▲ 24.1	7.4%	61.1%	31.5%	▲ 23.2
小売	▲ 14.7	14.7%	55.9%	29.4%	▲ 9.0
サービス	▲ 8.4	11.6%	68.4%	20.0%	▲ 5.6

■ 好転 □ 不変 ■ 悪化

IV. 資金繰り

1. 今期

前年同期比 (2024年10～12月期の水準と比較した今期の資金繰り)



業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 13.3	<div><div>7.3%</div></div>	<div><div>72.1%</div></div>	<div><div>20.6%</div></div>	▲ 16.7
製造	▲ 14.5	<div><div>5.5%</div></div>	<div><div>74.5%</div></div>	<div><div>20.0%</div></div>	▲ 23.1
建設	▲ 11.4	<div><div>4.3%</div></div>	<div><div>80.0%</div></div>	<div><div>15.7%</div></div>	▲ 18.9
卸売	▲ 11.5	<div><div>7.7%</div></div>	<div><div>73.1%</div></div>	<div><div>19.2%</div></div>	▲ 7.4
小売	▲ 15.2	<div><div>10.6%</div></div>	<div><div>63.6%</div></div>	<div><div>25.8%</div></div>	▲ 20.9
サービス	▲ 13.8	<div><div>8.5%</div></div>	<div><div>69.2%</div></div>	<div><div>22.3%</div></div>	▲ 13.4

好転不変悪化

2. 来期

前年同期比 (2025年1～3月期の水準と比較した来期の見通し)

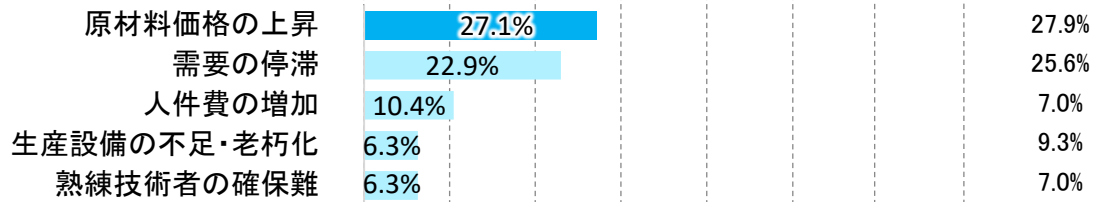
業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 16.3	<div><div></div><div></div><div></div></div> 5.3%	73.1%	21.6%	▲ 14.7
製造	▲ 18.8	<div><div></div><div></div><div></div></div> 5.7%	69.8%	24.5%	▲ 20.8
建設	▲ 18.9	<div><div></div><div></div><div></div></div> 1.4%	78.3%	20.3%	▲ 19.2
卸売	▲ 13.2	<div><div></div><div></div><div></div></div> 3.8%	79.2%	17.0%	▲ 11.1
小売	▲ 22.3	<div><div></div><div></div><div></div></div> 9.0%	59.7%	31.3%	▲ 13.5
サービス	▲ 8.6	<div><div></div><div></div><div></div></div> 6.5%	78.4%	15.1%	▲ 8.9

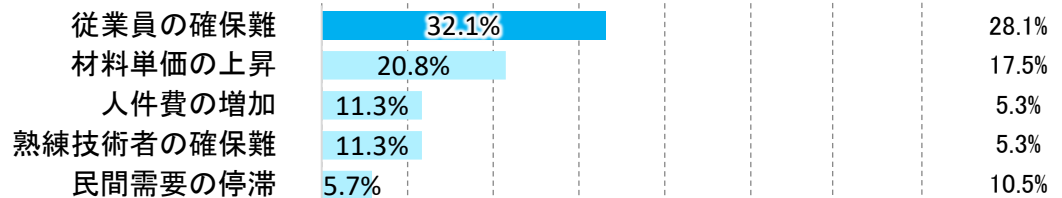
好転不変悪化

V. 経営上の問題点(上位5項目)

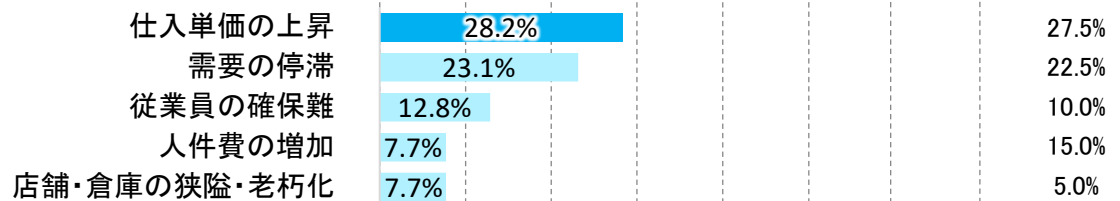
製造業



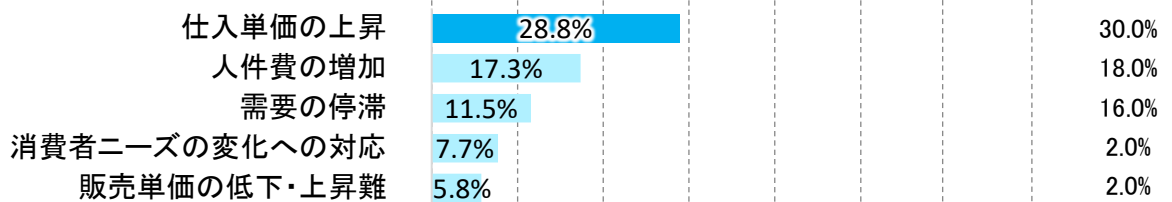
建設業



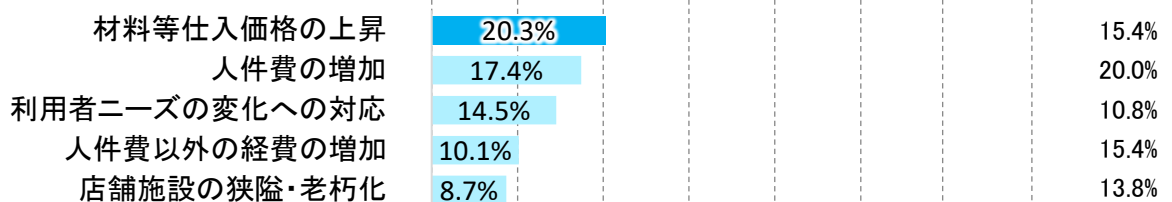
卸売業



小売業



サービス業



VI. 従業員の動向

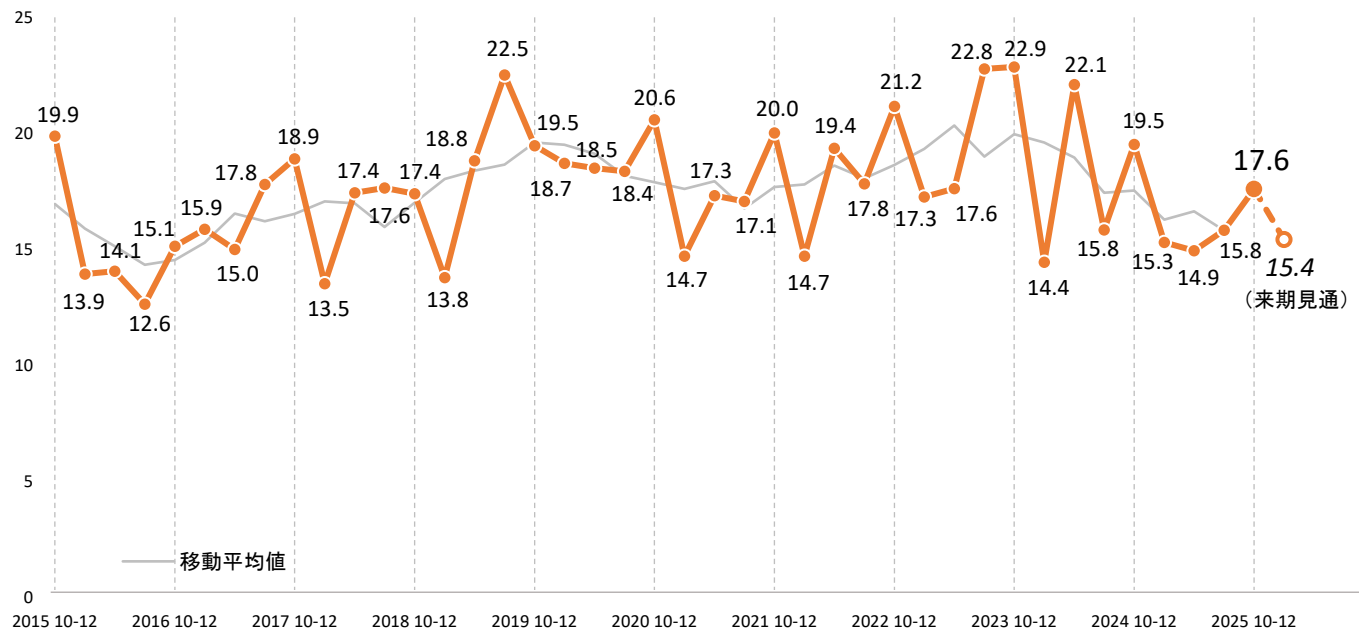
業種別D・I値

	今回	内訳			前回
全業種	▲ 28.3	2.7%	66.3%	31.0%	▲ 26.7
製造	▲ 18.8	5.7%	69.8%	24.5%	▲ 20.0
建設	▲ 44.2	2.9%	50.0%	47.1%	▲ 50.0
卸売	▲ 22.0	0.0%	78.0%	22.0%	▲ 20.4
小売	▲ 23.9	1.5%	73.1%	25.4%	▲ 13.4
サービス	▲ 32.5	3.5%	60.5%	36.0%	▲ 29.7

■ 過剰 □ 適正 ■ 不足

Ⅶ. 新規設備投資

新規設備投資実施の動向(全業種平均%)



1. 今期

	(単位%)					
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施した	17.6	16.1	22.5	14.8	22.1	12.5
土地	10.8	22.2	12.5	12.5	6.7	0.0
工場建物、建物、店舗	11.5	11.1	12.5	12.5	13.3	8.3
生産・販売・サービス設備、建設機械	28.3	77.8	18.8	0.0	20.0	25.0
車両運搬具	25.3	33.3	25.0	25.0	26.7	16.7
倉庫・駐車場等の付帯施設	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3
OA機器	47.9	33.3	56.3	50.0	33.3	66.7
厚生施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	2.7	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0
実施していない	82.4	83.9	77.5	85.2	77.9	87.5

2. 来期

	(単位%)					
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業
実施する	15.4	12.5	18.3	9.3	16.2	20.8
土地	4.9	0.0	15.4	0.0	9.1	0.0
工場建物、建物、店舗	5.2	0.0	7.7	0.0	18.2	0.0
生産・販売・サービス設備、建設機械	34.4	71.4	23.1	0.0	27.3	50.0
車両運搬具	29.7	14.3	46.2	40.0	18.2	30.0
倉庫・駐車場等の付帯施設	8.5	28.6	0.0	0.0	9.1	5.0
OA機器	28.1	0.0	46.2	40.0	9.1	45.0
厚生施設	2.5	0.0	7.7	0.0	0.0	5.0
その他	6.8	0.0	0.0	20.0	9.1	5.0
実施しない	84.6	87.5	81.7	90.7	83.8	79.2

製造業

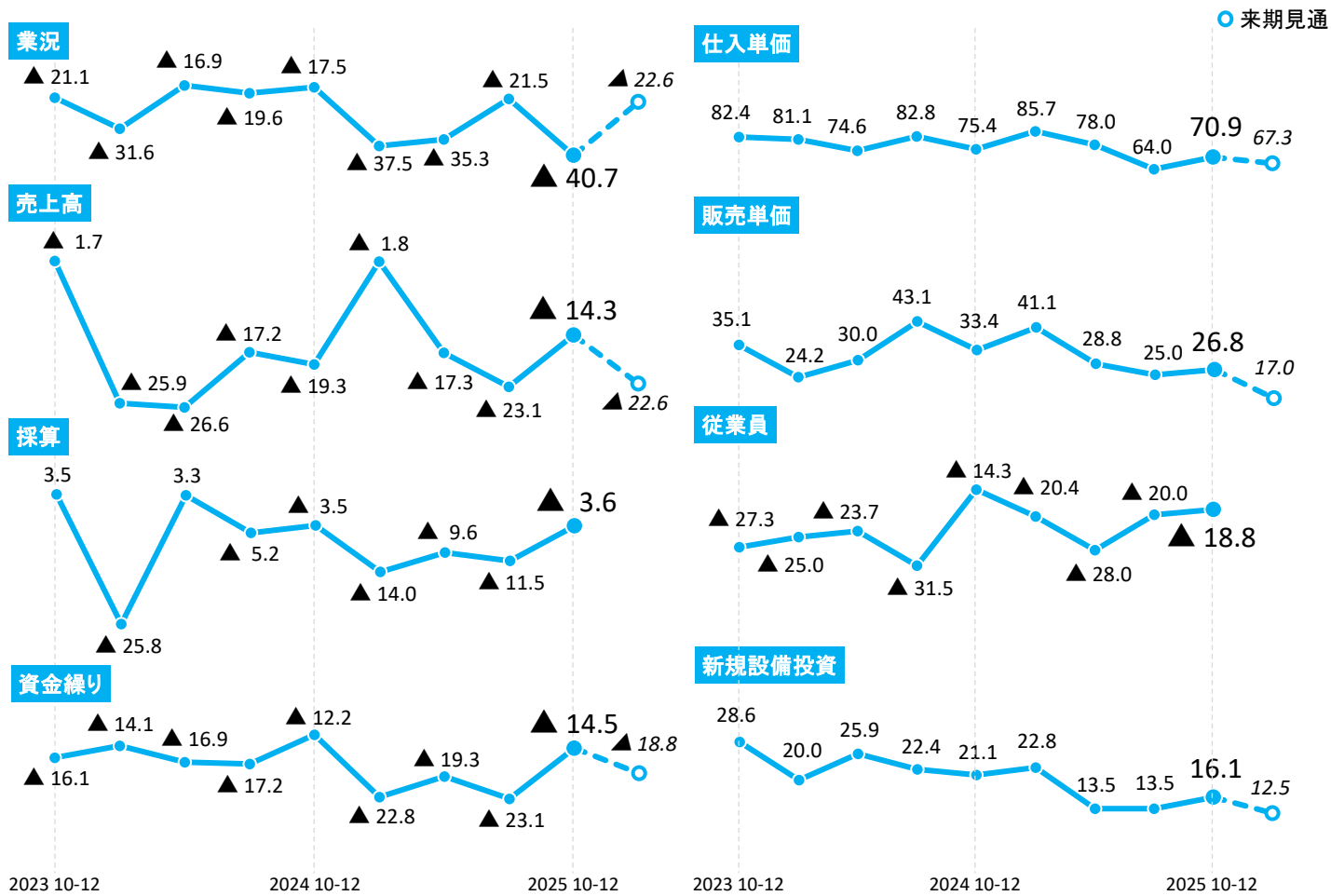
■主なコメント

- ・原材料価格高騰から、昨年に引き続き今年も値上げしたが、消費者の反応敏感であり売上が減少。収益改善につながらず赤字が続いている。(食品製造)
- ・当業界は海外輸入資材が多いので、為替レート変動による物価高対策に取り組んでもらいたい。(印刷業)
- ・原価・人件費の上昇はあるが、客数減をカバーする客単価で推移。来期中にはさらなる販売単価の値上げが必要。これから繁盛期に突入するので機会ロスのないよう準備する。(食品製造)

■D・I

	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 21.1	▲ 31.6	▲ 16.9	▲ 19.6	▲ 17.5	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 21.5	▲ 40.7	▲ 22.6
売上高 (前年同期比)	▲ 1.7	▲ 25.9	▲ 26.6	▲ 17.2	▲ 19.3	▲ 1.8	▲ 17.3	▲ 23.1	▲ 14.3	▲ 22.6
採算 (今期の経常損益)	3.5	▲ 25.8	3.3	▲ 5.2	▲ 3.5	▲ 14.0	▲ 9.6	▲ 11.5	▲ 3.6	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 16.1	▲ 14.1	▲ 16.9	▲ 17.2	▲ 12.2	▲ 22.8	▲ 19.3	▲ 23.1	▲ 14.5	▲ 18.8
仕入単価 (前年同期比)	82.4	81.1	74.6	82.8	75.4	85.7	78.0	64.0	70.9	67.3
販売単価 (前年同期比)	35.1	24.2	30.0	43.1	33.4	41.1	28.8	25.0	26.8	17.0
従業員 (今期の過不足)	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 23.7	▲ 31.5	▲ 14.3	▲ 20.4	▲ 28.0	▲ 20.0	▲ 18.8	-
新規設備投資した割合	28.6	20.0	25.9	22.4	21.1	22.8	13.5	13.5	16.1	12.5

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



建設業

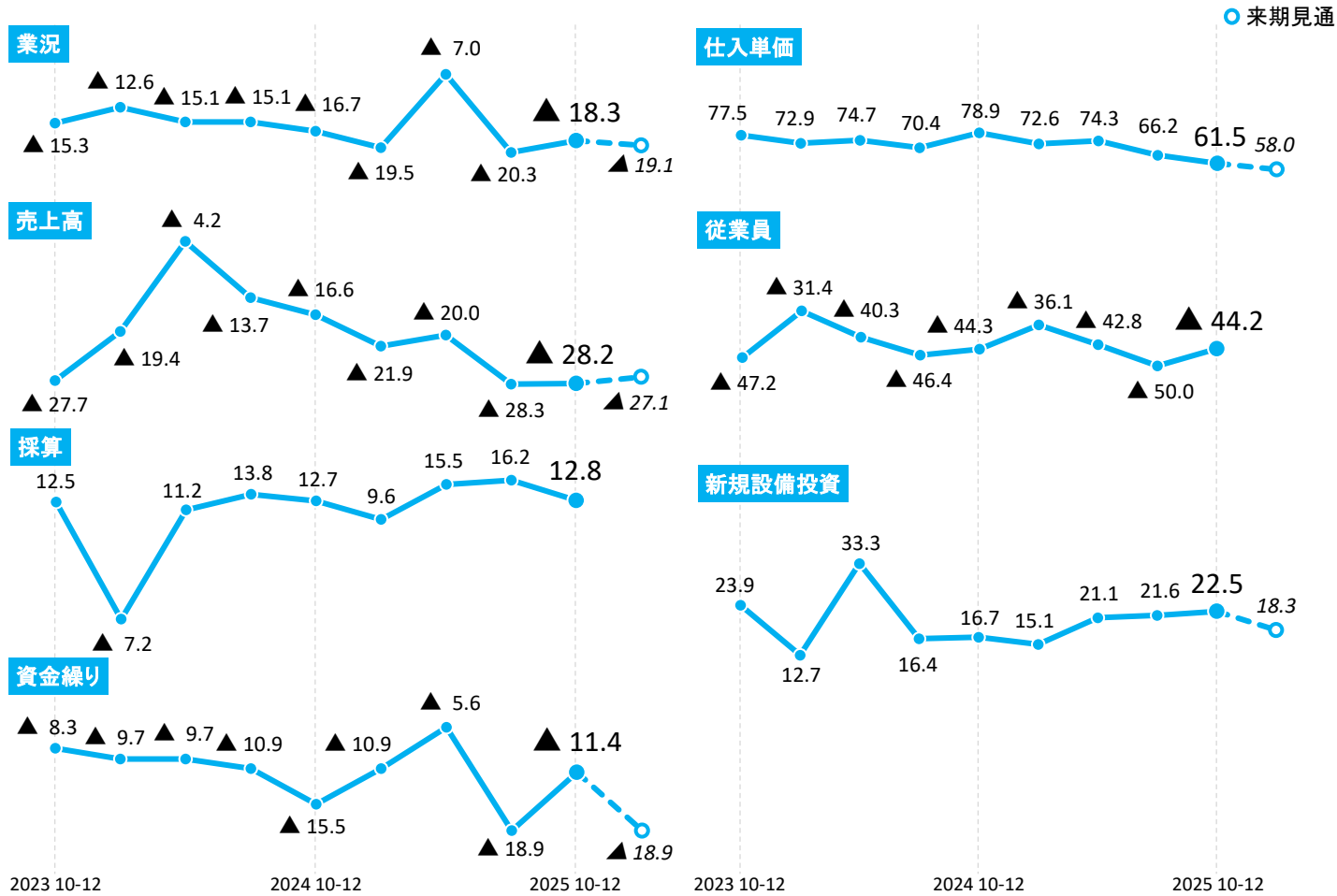
■主なコメント

- ・官外業者の参入により競争が激化し、管内業者が受注できない懸念がある。資機材価格・下請施工費の高騰により利益が縮小している。(総合工事)
- ・人手不足もさることながら、技術者不足が業務の支障となっている。教育費を予算化し、自社内で人材を育成していく方針。(設備工事)
- ・中途採用を行っているものの、技術者が不足している。そのため、生成AI活用による現場のバックアップ体制構築の研究に着手した。(ゼネコン)

■D・I

	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 15.3	▲ 12.6	▲ 15.1	▲ 15.1	▲ 16.7	▲ 19.5	▲ 7.0	▲ 20.3	▲ 18.3	▲ 19.1
売上高 (前年同期比)	▲ 27.7	▲ 19.4	▲ 4.2	▲ 13.7	▲ 16.6	▲ 21.9	▲ 20.0	▲ 28.3	▲ 28.2	▲ 27.1
採算 (今期の経常損益)	12.5	▲ 7.2	11.2	13.8	12.7	9.6	15.5	16.2	12.8	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 8.3	▲ 9.7	▲ 9.7	▲ 10.9	▲ 15.5	▲ 10.9	▲ 5.6	▲ 18.9	▲ 11.4	▲ 18.9
仕入単価 (前年同期比)	77.5	72.9	74.7	70.4	78.9	72.6	74.3	66.2	61.5	58.0
販売単価 (前年同期比)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
従業員 (今期の過不足)	▲ 47.2	▲ 31.4	▲ 40.3	▲ 46.4	▲ 44.3	▲ 36.1	▲ 42.8	▲ 50.0	▲ 44.2	-
新規設備投資した割合	23.9	12.7	33.3	16.4	16.7	15.1	21.1	21.6	22.5	18.3

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



卸売業

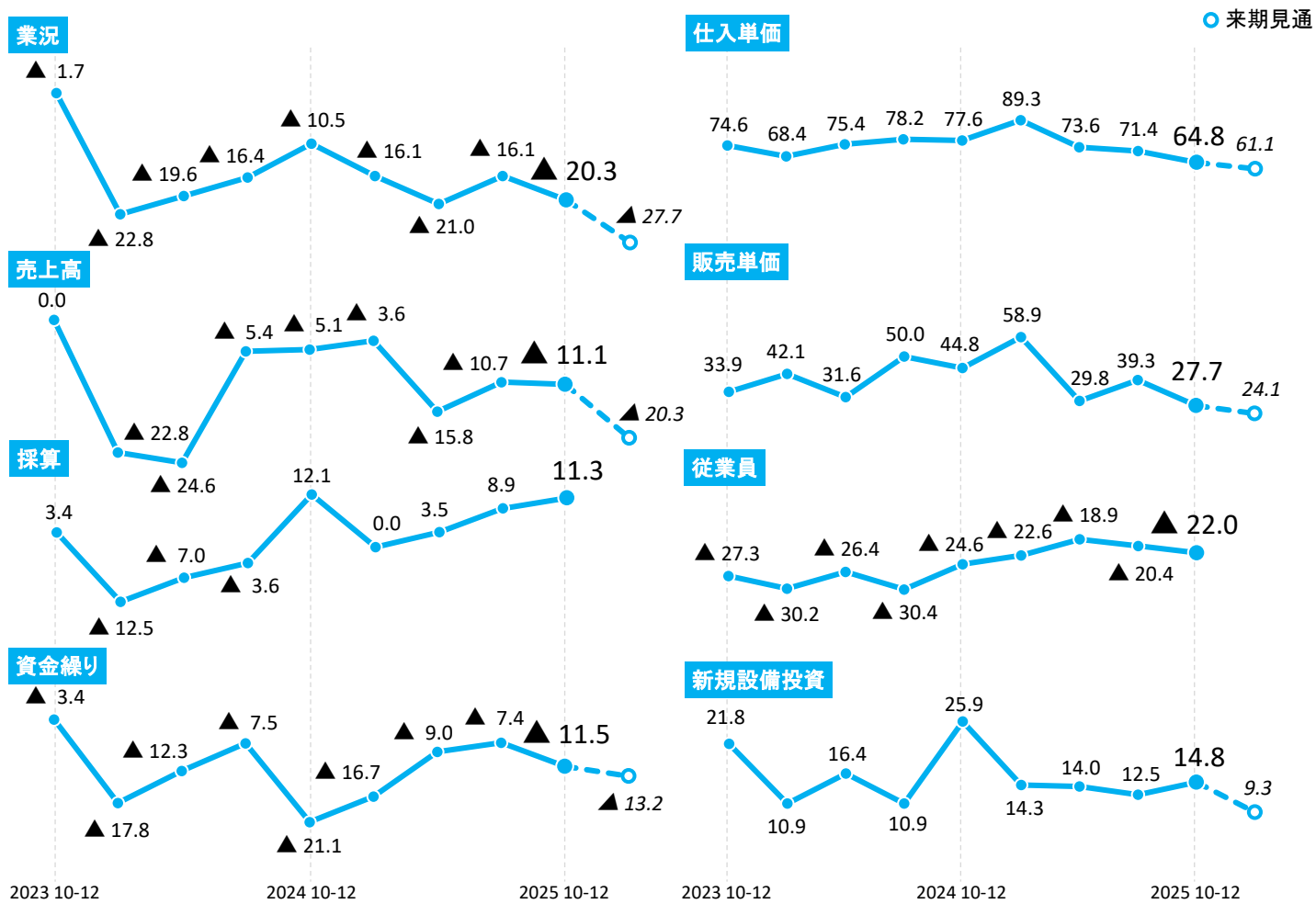
■主なコメント

- ・前年同月比業況悪化。売掛入金に懸念はないが、肝心の売上げの伸びがいまひとつ。顧客の購入意欲はまだ低調にあり、しばらくの間は足踏み状態が続くとみている。
(農業資材等卸)
- ・日中関係が良くないため、対中貿易に不安要素がある。全体的に輸出への盛り上がりがない状況。
(食料・飲料卸)
- ・円安の影響で材料や部品の単価が上昇し、製造コストを引き上げている。円安対策(為替対策)に取り組んでほしい。
(各種商品卸売業)

■D・I

	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 1.7	▲ 22.8	▲ 19.6	▲ 16.4	▲ 10.5	▲ 16.1	▲ 21.0	▲ 16.1	▲ 20.3	▲ 27.7
売上高 (前年同期比)	0.0	▲ 22.8	▲ 24.6	▲ 5.4	▲ 5.1	▲ 3.6	▲ 15.8	▲ 10.7	▲ 11.1	▲ 20.3
採算 (今期の経常損益)	3.4	▲ 12.5	▲ 7.0	▲ 3.6	12.1	0.0	3.5	8.9	11.3	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 3.4	▲ 17.8	▲ 12.3	▲ 7.5	▲ 21.1	▲ 16.7	▲ 9.0	▲ 7.4	▲ 11.5	▲ 13.2
仕入単価 (前年同期比)	74.6	68.4	75.4	78.2	77.6	89.3	73.6	71.4	64.8	61.1
販売単価 (前年同期比)	33.9	42.1	31.6	50.0	44.8	58.9	29.8	39.3	27.7	24.1
従業員 (今期の過不足)	▲ 27.3	▲ 30.2	▲ 26.4	▲ 30.4	▲ 24.6	▲ 22.6	▲ 18.9	▲ 20.4	▲ 22.0	-
新規設備投資した割合	21.8	10.9	16.4	10.9	25.9	14.3	14.0	12.5	14.8	9.3

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



小売業

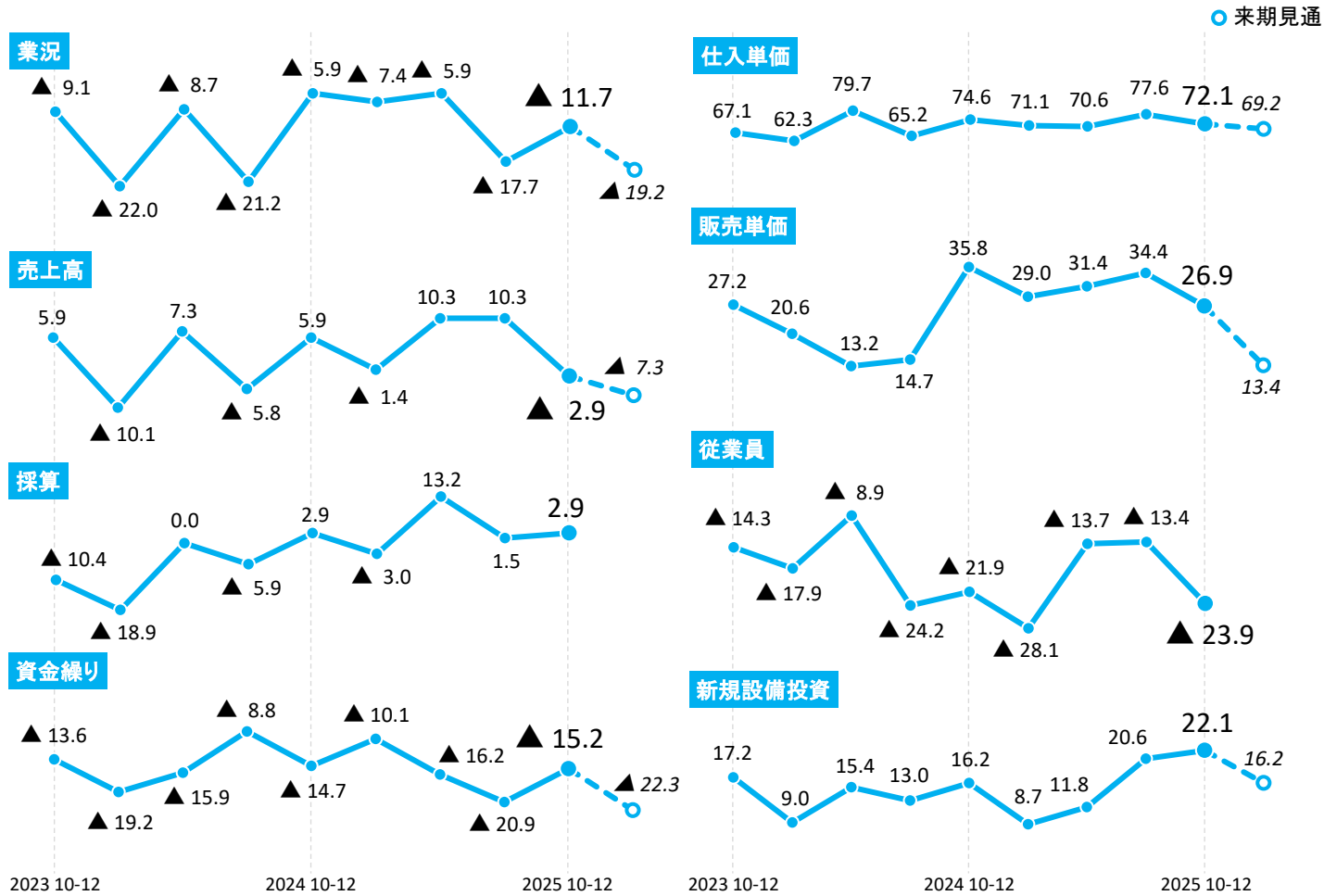
■主なコメント

- ・11月後半から中国の渡航制限の影響が徐々に表れ、インバウンド需要の減速が顕著となった。代替の需要喚起に向けた対策が今後の課題。(食料品小売)
- ・実質賃金が増えない中、長引く物価高の影響で消費者の購買意欲は低下している。こういった状況が続くと、受注減→売上・利益減、加えて昨今の経費増が重くのしかかり業績悪化につながることを懸念している。(自動車小売)
- ・インバウンドに依存することなく、如何にして国内消費を喚起していくのかということに取り組みしていくことが、当面の課題である。(百貨店)

■D・I

	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 9.1	▲ 22.0	▲ 8.7	▲ 21.2	▲ 5.9	▲ 7.4	▲ 5.9	▲ 17.7	▲ 11.7	▲ 19.2
売上高 (前年同期比)	5.9	▲ 10.1	7.3	▲ 5.8	5.9	▲ 1.4	10.3	10.3	▲ 2.9	▲ 7.3
採算 (今期の経常損益)	▲ 10.4	▲ 18.9	0.0	▲ 5.9	2.9	▲ 3.0	13.2	1.5	2.9	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 13.6	▲ 19.2	▲ 15.9	▲ 8.8	▲ 14.7	▲ 10.1	▲ 16.2	▲ 20.9	▲ 15.2	▲ 22.3
仕入単価 (前年同期比)	67.1	62.3	79.7	65.2	74.6	71.1	70.6	77.6	72.1	69.2
販売単価 (前年同期比)	27.2	20.6	13.2	14.7	35.8	29.0	31.4	34.4	26.9	13.4
従業員 (今期の過不足)	▲ 14.3	▲ 17.9	▲ 8.9	▲ 24.2	▲ 21.9	▲ 28.1	▲ 13.7	▲ 13.4	▲ 23.9	-
新規設備投資した割合	17.2	9.0	15.4	13.0	16.2	8.7	11.8	20.6	22.1	16.2

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



サービス業

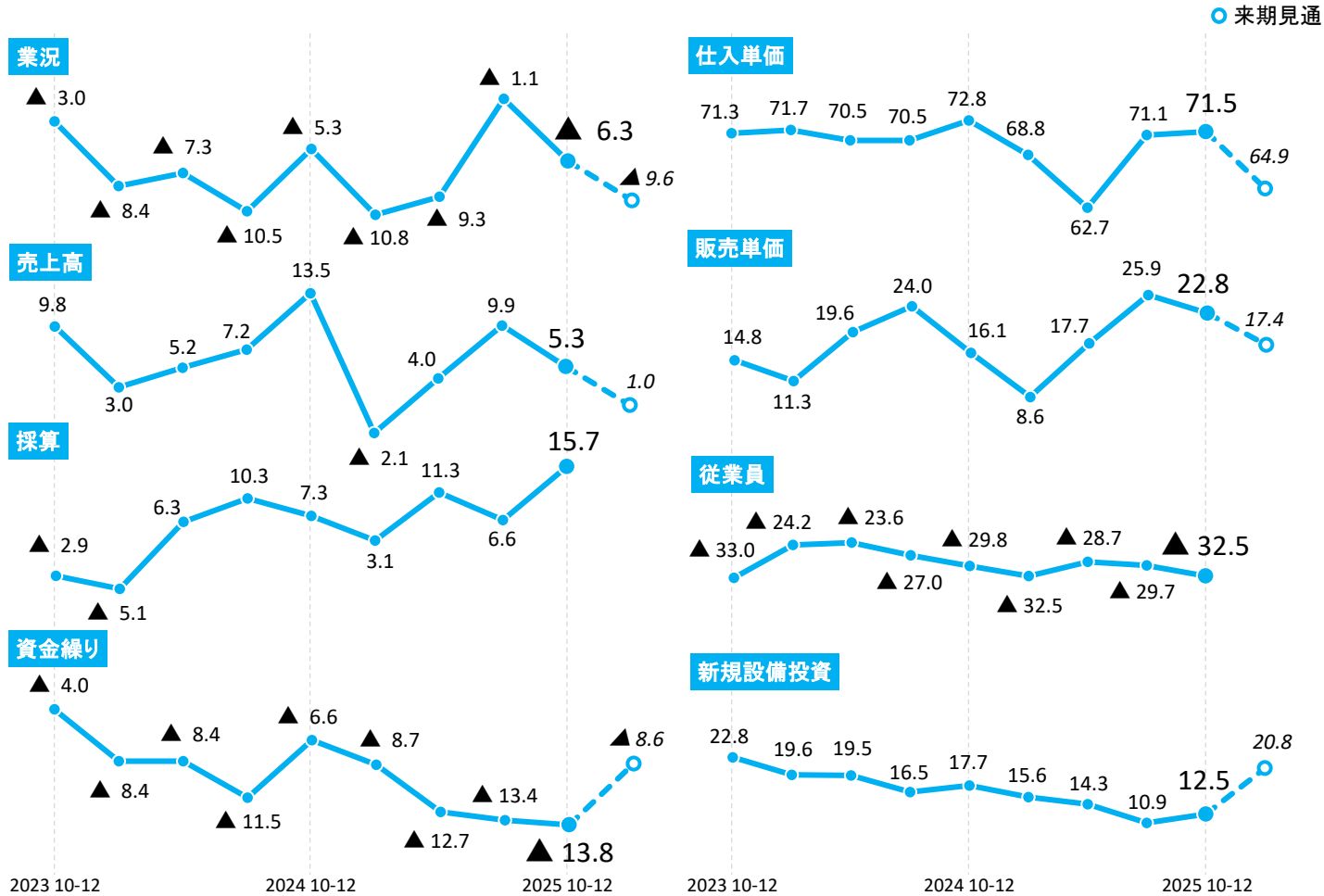
■主なコメント

- ・燃料費の上昇は輸送コストの増加を招き、収益を圧迫。また、ドライバーの確保が困難となっており、業務の効率化やサービスの維持にも支障をきたしている。
(運輸業)
- ・IT業界全体としては、DX・AIといった新技術の案件・引き合いは多いが、その要求に見合う技術者が不足している。
(情報処理サービス)
- ・物価上昇に見合う診療報酬の引き上げがなされていないこともあり、コロナ禍時の収益悪化分の回収の見込みが立たない。
(医療)

■D・I

	2023 10-12	2024 1-3	2024 4-6	2024 7-9	2024 10-12	2025 1-3	2025 4-6	2025 7-9	2025 10-12	2026 1-3(見通)
業況 (前年同期比)	▲ 3.0	▲ 8.4	▲ 7.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 10.8	▲ 9.3	▲ 1.1	▲ 6.3	▲ 9.6
売上高 (前年同期比)	9.8	3.0	5.2	7.2	13.5	▲ 2.1	4.0	9.9	5.3	1.0
採算 (今期の経常損益)	▲ 2.9	▲ 5.1	6.3	10.3	7.3	3.1	11.3	6.6	15.7	-
資金繰り (前年同期比)	▲ 4.0	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 11.5	▲ 6.6	▲ 8.7	▲ 12.7	▲ 13.4	▲ 13.8	▲ 8.6
仕入単価 (前年同期比)	71.3	71.7	70.5	70.5	72.8	68.8	62.7	71.1	71.5	64.9
販売単価 (前年同期比)	14.8	11.3	19.6	24.0	16.1	8.6	17.7	25.9	22.8	17.4
従業員 (今期の過不足)	▲ 33.0	▲ 24.2	▲ 23.6	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 32.5	▲ 28.7	▲ 29.7	▲ 32.5	-
新規設備投資した割合	22.8	19.6	19.5	16.5	17.7	15.6	14.3	10.9	12.5	20.8

※D・Iとは、各調査項目についての増加(好転・上昇・黒字)割合から減少(悪化・低下・赤字)割合を差し引いた値を示す。



VIII. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点2025年12月
- (2) 調査対象期間2025年10～12月期実績及び2026年1～3月期見通し

2. 調査対象

- (1) 中小企業景況調査
「製造業」、「建設業」については、資本金3億円以下、又は従業員300人以下の企業、
「卸売業」については、資本金1億円以下、または従業員100人以下の企業、
「小売業」については、資本金5千万円以下、または従業員50人以下の企業、
「サービス業」については、資本金5千万円以下、または従業員100人以下の企業を対象とした。
- (2) 業界動向調査
道内各地商工会議所が地域の中小企業者との相談等により情報収集した特徴的事例。
また、各業界組合・企業に対し独自に聞き取り調査を実施し、生の声を収集した。

3. 調査地域及び調査方法

全道商工会議所地域の中小企業に対しアンケート調査を実施(中小企業景況調査)
全道商工会議所を通じて地域の業界・組合等へヒアリング調査を実施(業界動向調査)

4. 業種別・規模別回答状況(社数)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合 計
小規模	42	56	38	58	73	267
中規模	14	15	16	10	23	78
合 計	56	71	54	68	96	345
構成比	16.2%	20.6%	15.7%	19.7%	27.3%	100.0%

〈業界動向調査〉
ヒアリング先 製造業 40社、建設業 34社、卸売業 23社、
小売業 29社、サービス業 44社 合計 170社

■過去の調査結果はコチラ



【URL】 <https://www.hokkaido.cci.or.jp/demand/research/>

D・Iとは…

本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、各調査項目についての増加(好転・上昇)企業割合から減少(悪化・低下)企業割合を差引いた値(景気動向指数)を示す。